



Press Release

2012 年 6 月 7 日

ニチユ、 エンジン式フォークリフトの生産を検討

～ 三菱重工業（株）からの生産委託について検討を開始 ～

ニチユ〔日本輸送機（社長 ニノ宮秀明）〕は、三菱重工（三菱重工業株式会社）からの国内向けエンジン車（エンジン式フォークリフト）生産の要請を受け、委託生産の検討を開始することを発表した。生産検討対象機種は国内向け小型車を予定。

ニチユと資本提携関係にある三菱重工は生産体制の再編に取り組んでおり、その一環としてニチユでのエンジン車生産の可能性につき検討を行う。

ニチユと三菱重工は 2009 年 4 月に国内フォークリフト販売会社を統合して、ニチユMH I フォークリフト（株）を発足させており、既にエンジン車を販売する体制は確立済み。一方、バッテリー車（バッテリー式フォークリフト）はニチユ京都工場（京都府長岡京市）、エンジン車は三菱重工 汎用機・特車事業本部本工場（神奈川県相模原市）とそれぞれ別拠点での生産となっている。

三菱重工は生産体制を再編する方針の下、汎用機・特車事業本部本工場での車両の生産を 2013 年 12 月末で終了するとしており、これに基づきニチユでの委託生産案が浮上したもの。

具体的な設備投資額、工場レイアウト等は未定であり、詳細事項については今後検討していくこととなるが、生産開始時期は 2013 年半ば、生産規模としては年産約 4,000 台が見込まれる。

ニチユは 2013 年のタイ工場稼働によって、国内、中国工場を合わせた 3 拠点での生産台数はバッテリー車のみで 2014 年度に年産 20,000 台に達する計画としており、これにエンジン車の生産が加わることにより、さらなる収益基盤の強化が期待できる。

以上